

9/●● ●●:40 ころ再度血圧測定しました オムロンの家庭用簡易血圧測定器です やはり上 154 下 96 心拍数 97 でした 内科にかかっているようなので医師に報告の手紙を書こうと思いますが妥当でしょうか？

ChatGPT:

はい、今回のケースでは主治医への報告は妥当で、むしろ安全対策として非常に良い対応だと思います。

---

## 今回の測定結果

- ・ 日時: 9/●● ●●:40
  - ・ 機器: 家庭用(オムロン)血圧計
  - ・ 血圧: 154/96 mmHg
  - ・ 心拍数: 97 bpm
  - ・ 傾向: 先日の測定でも高め(158/103 → 136/92)。今回も高値持続。
- 

## 判断ポイント

- ・ 繰り返し高血圧域(収縮期 >140 / 拡張期 >90)が確認されている。
  - ・ 心拍数もやや高め。
  - ・ 既に内科通院中であれば、**連続した高値を記録して主治医に報告するのは適切。**
  - ・ 緊急性(頭痛、胸痛、息切れ、視覚異常、神経症状など)は記載されていないため、**急変リスクは低い**が**慢性的リスクあり。**
- 

## 報告文に含めると良い情報

- ・ 施術所での複数回測定結果(日時・数値)
- ・ 症状(しびれや痛みが主訴であり、頭痛や胸痛などはなし)

- ・ ご本人が「内科に通っている」と伝えていたこと
  - ・ 「血圧高値が繰り返し確認されたため、念のためご報告いたします」という形で記録性を重視
- 

## コメント

- ・ この報告は「診断」ではなく「観察事実の共有」として書けば、医師側も受け取りやすいです。
  - ・ 内科医にとっては治療方針（降圧薬の調整、生活習慣指導など）の判断材料になります。
- 

📝 必要であれば、実際の「報告文（紹介状形式）」の簡単なひな型を作成できますが、ご用意しましょうか？

あなた:

ありがとうございます 診断は鍼灸院では禁止されているので、鍼灸の施術が適応か？また専門家につなげるための方針だということが分かる用、手紙にも記載したいと思います

ChatGPT:

なるほどです。とても良い姿勢だと思います。  
鍼灸師は診断行為はできませんが、「観察結果の共有」と「施術適応の範囲をこえた可能性があるため専門医にご確認いただきたい」というスタンスなら、医師も受け取りやすいです。

---

## 報告文のひな型（紹介状風）

〇〇内科 〇〇先生

平素より大変お世話になっております。  
田無北口鍼灸院の鍼灸師、□□と申します。

本日、当院に通院中の〇〇様（30代・男性）が背部の痛み・しびれを主訴に来院されました。施術前後に血圧を家庭用電子血圧計（オムロン社製）にて測定したところ、以下のように高値が複数回認められましたので、ご報告申し上げます。

【血圧測定記録】

9月●●日●●:00 158/103 mmHg 心拍数 103 bpm

9月●●日施術後 136/92 mmHg 心拍数 90 bpm

9月●●日 ●●:40 154/96 mmHg 心拍数 97 bpm

随伴症状として、胸痛・頭痛・呼吸困難・神経学的異常などの急性症状は認めませんでした。主訴は背中の痛みとしびれであり、触診にて局所の筋緊張が確認されました。

当院では鍼灸施術の適応範囲を超える可能性がある場合には、専門医療機関での確認をお願いしております。今回もその一環として、観察結果を共有させていただくものです。診断行為は行っておりません。

以上、ご高覧のほどよろしくお願い申し上げます。

---

## ポイント

- ・ **観察結果の報告**に徹する
  - ・ 「診断ではない」ことを文中で明示
  - ・ 「施術適応の範囲を超える可能性があるため専門家へ」という立場を強調
  - ・ 医師にとっては「診断材料」「経過観察の参考」として受け取りやすい
-